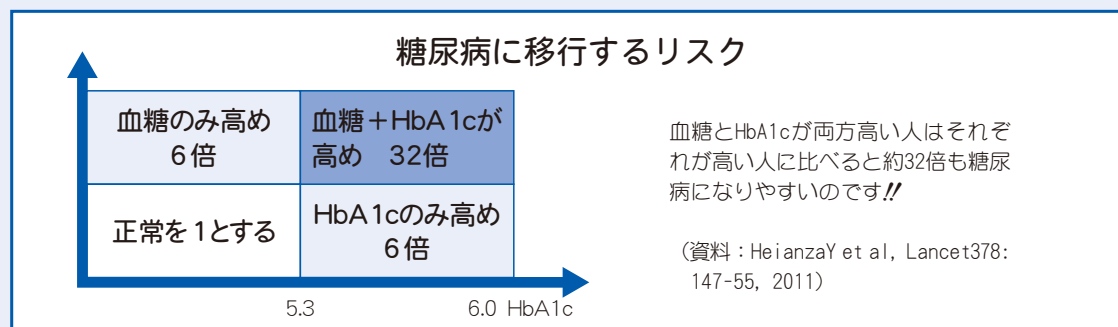


こんにちは保健師です

健診結果はいかがでしたか？

総合健診を受けた方はそろそろ結果が手元に届いているころでしょうか？結果はいかがでしたか？精密検査や受診が必要と判定された方はすぐに医療機関へ受診をしましょう。

それから、基本健診を受けた方、糖尿病の値、血糖値とHbA1c（ヘモグロビンエイワンシー）は確認しましたか？5年間で糖尿病に移行するリスクとしてこんなデータがあります。



各地区巡回の健診結果相談会を行います。詳しくは健診結果に同封してある日程表をご覧ください。また、12月から3月末までのチームダイエットなんぶ（運動教室）、スリム栄養教室も計画しています。詳しくは保健師・栄養士までお問い合わせ下さい。

福祉保健課 ☎64 - 4836

こんにちは！ 地域包括支援センターです

在宅介護や医療、看護に関する情報を皆さんに知っていただくために、町内の利用者さんを担当している各事業所ケアマネジャーによるペンリレー形式でお知らせいたします。今月は飯富病院指定居宅ケアマネジャーが担当します。

過疎、高齢、少子化の進んだこの地域で住民が『しあわせ』を実感できるためには医療、福祉、保健が連携することが不可欠です。人口減少は止められないが、『幸せ人口（その人らしい生活）を増やす』『一人で困らない、抱え込まない、そのままにしない』をモットーに取り組んでいます。

平成22年度に利用者120人の方を対象にアンケート調査を実施した結果、在宅では介護度が軽い、歩ける認知症の方が増えていることがわかりました。

認知症はテレビやマスコミなどでも広く取り上げられている病気で、身近で誰もがかかる可能性のある病気です。認知症の方で受診や治療、服薬、入院などが満足にできない方が見られます。受診日を忘れて何回も外来に来られる方、病状の理解が難しく、処方された薬が飲めない方、入院しても徘徊したり、点滴を抜いてしまったり治療ができない方がいます。

認知症の方は困っています。周りにいる私たちができることはなんなのでしょうか。認知症のこと、本人・家族のことを理解し、話を聞き、一緒に行動することなど寄り添うことが大切になっています。これからますます認知症の方は増えてきます。受診できる専門機関も増え、新薬も販売されました。住み慣れた家庭と地域で最後まで自分らしく生活できるために、困ったことがあったら、抱え込まず、かかりつけ医、保健師、ケアマネジャーなどに相談しましょう。